

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

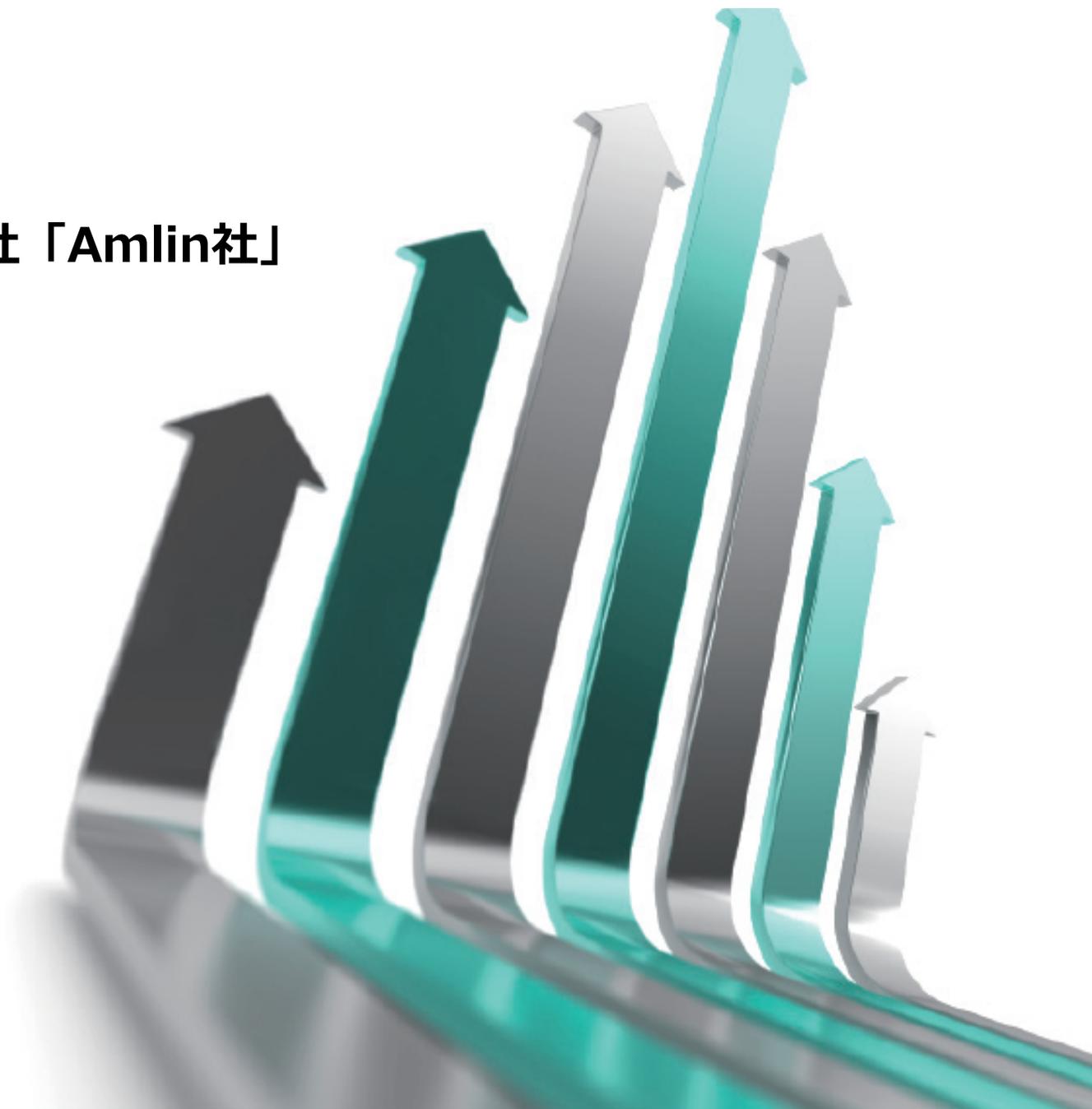
Amlin

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

三井住友海上/英国保険持株会社「Amlin社」
買収手続き開始の合意について

MS&AD

2015年9月8日（火）



重要情報

本プレゼンテーションは、いかなる法域においても、MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社（以下、「MS&ADホールディングス」といいます。）の子会社である三井住友海上火災保険株式会社（以下、「三井住友海上」といいます。MS&ADホールディングスとあわせて、以下「MS&AD」といいます。）の提案した、Amlin plc（以下、「Amlin」といいます。）の発行済又は発行予定の株式の全てに対して行われる買収オファー（以下、「本件買収」といいます。）その他に従った、有価証券の購入、取得、応募、売却若しくは処分のための申込み、その誘引若しくは勧誘又は投票や承認の勧誘を意図しておらず、また、それらを構成するものでもありません。本件買収は、2006年会社法Part 26に基づくスキーム・オブ・アレンジメントの方法によることが予定されており、Amlin株主とのやり取りは、本件買収に関する全ての条件が記載されているスキーム書類（本件買収に関する議決権の行使方法の詳細を含みます。）を通じて行われることが予定されています。本件買収に関連する議決権の行使又はその他の本件買収に対する回答は全て、スキーム書類に記載される情報のみに基づき行われる必要があります。Amlin株主に対してスキーム書類及びその他の本件買収に関する公式書類が送付された後、Amlin株主には、それらを注意深く閲読することが推奨されます。

本プレゼンテーションに含まれている情報は、全ての事項を網羅的に記載することを企図したものではありません。MS&AD、その株主、その直接ないし間接的な子会社又は関係会社、あるいは、これらの取締役、役員、従業員、アドバイザー又は代理人その他の者は、明示あるいは黙示を問わず、本プレゼンテーションに記載されている情報、あるいは、MS&AD、その子会社若しくは関係会社又は本件買収に関するその他の情報（書面、口頭、映像あるいは電磁的方法で伝達されるとを問わず、かつ、伝達あるいは入手可能とされた方法を問いません）について、その真実性、正確性又は完全性（あるいは何らかの情報の本プレゼンテーションから省略されているか否か）に関して一切表明ないし保証をする責任を負うものではありません。

本プレゼンテーション又はその他会合で議論されたその他の資料に含まれている情報又はその完全性、正確性若しくは公正性に関してその目的を問わず依拠することはできません。

海外居住者

本プレゼンテーションに含まれる情報は、直接又は間接を問わず、その地において当該情報を公表若しくは流布させることが当該法域における法律違反となり、又はその公表若しくは流布により、MS&ADによって過度の負担であるとみなされる公的若しくは他の同意、登録若しくは届出その他の手続の遵守義務を発生させることになるであろういかなる国（以下、「制限法域」といいます。）において発表又は流布されるものではありません。また、株主のうち、英国若しくは日本以外の法域の居住者、国民若しくはそれらの国の国籍保有者又はそうした者の代理人、被任命者、管理人若しくは受託者に対して当該情報（及び関連するオファー）を供給することができるかどうかについては、関連する法域の法の影響を受ける可能性があります。英国若しくは日本以外の法域の法に従う者又は英国若しくは日本以外の国に居住するAmlin株主は、適用される法律又は規制上の要件を把握し、遵守すべきです。適用される制約の不遵守は、当該法域における証券取引法違反を構成する可能性があります。本件買収は、直接又は間接を問わず、制限法域内の者に対して若しくは制限法域内で又は制限法域から行うものではなく、また、制限法域から若しくは制限法域内で本件買収に応じることはできません。

将来の見通しに関する記載

本プレゼンテーションには、将来の見通しに関する記載が含まれています。「目標とされている」、「考えられている」、「期待されている」、「予期されている」、「意図されている」、「予定されている」、「評価されている」、「目指されている」、「するだろう」、「可能性がある」、「予見されている」、「計画されている」及びこれらに類する表現を用いた記載（その反対の意味の記載を含みます。また、これらの記載に限られません。）は全て、将来の見通しに関する記載です。将来の見通しに関する記載には、以下のものが含まれます：本件買収によりMS&ADにもたらされる期待利益に関する記載、本件買収の背景及び理由、MS&AD又はAmlinの今後の見通しに関する情報及び将来の資本支出、経費、収益、利益、シナジー、経済性及び将来性。将来の見通しに関する記載は、その性質からして、リスクや不確実性を含んでおり、それらのリスクや不確実性は、予期される結果に重大な影響を及ぼす可能性があります。また、そのようなリスクや不確実性は、一定の重要な前提に依拠しています。これら多くの要因は、実際の結果と、将来の見通しに関する記載において推定され又は示唆された内容（Amlinの三井住友海上との統合の成功に関するリスクを含みます：Amlinとの統合に関して想定されていた費用の増加、期待された利益を得るための投資の必要、三井住友海上に明らかにならなかった、本件買収によって実現される利益のタイミング及び額に影響を与えるAmlinに関連する事実等。）との間に、重大な乖離をもたらす可能性があります。MS&ADは、将来の見通しに関する記載についてのAmlinの期待の変化若しくはプレゼンテーションの日以降に発生した、将来の見通しに関する記載が前提としている出来事、条件若しくは状況の変更を反映した将来の見通しに関する記載の更新若しくは変更を公表すること又は本プレゼンテーションに含まれるその他の情報を最新のものに保つことについて、義務を負い又は保証を行うことを明示的に否認します。そのため、本プレゼンテーションの日において記載されたものに過ぎない将来の見通しに関する記載を過度に信用すべきではありません。

持株会社

MS&AD MS&ADホールディングス

国内損害保険事業

MS&AD 三井住友海上



MS&AD あいおいニッセイ同和損保



MS&AD 三井ダイレクト損保

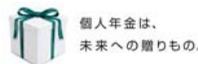
三井ダイレクト損保の
自動車保険

国内生命保険事業

MS&AD 三井住友海上あいおい生命



MS&AD 三井住友海上プライマリー生命



海外事業

海外子会社

金融サービス事業

リスク関連サービス事業

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS&ADホールディングス (＝MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ MS&AD (＝MS&ADインシュアランス グループ)
- ・ MSIG (＝三井住友海上グループホールディングス(株))
- ・ 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおい損保、IOI (＝あいおい損害保険(株))
- ・ ニッセイ同和損保、NDI (＝ニッセイ同和損害保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上きらめき生命 (＝三井住友海上きらめき生命保険(株))
- ・ あいおい生命 (＝あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))

本日のポイント	1
---------	---

I 本買収の概要

買収の概要	2
-------	---

II Amlin社の概要と特長

Amlin社の会社概要	3
-------------	---

Amlin社の強み	4
-----------	---

高い収益性 (1)事業の成長性と収益性	5
---------------------	---

高い収益性 (2)収益指標 (コンバインド・ROE)	6
----------------------------	---

高い収益性 (3)事業ポートフォリオ	7
--------------------	---

高い収益性 (4)戦略的ビジネスユニット別ポートフォリオ	8
------------------------------	---

ロイズでのプレゼンス	9
------------	---

優秀な人財・高度なリスク管理 (1)Amlin社の人財	10
-----------------------------	----

優秀な人財・高度なリスク管理 (2)Amlin社のリスク管理	11
--------------------------------	----

III 買収の戦略的目的と期待される効果

ERM経営上の課題認識とリスク選好方針	12
---------------------	----

本買収の目的	13
--------	----

MS&ADの海外事業展開の歩み	14
-----------------	----

本買収によって期待される効果	15
----------------	----

ロイズ及び世界における主導的ポジションの確立	16
------------------------	----

バランスの取れたポートフォリオによる成長性の向上 と事業基盤の強化	17
--------------------------------------	----

(1)海外事業ウエイトの拡大効果	
------------------	--

(2)海外事業の地理的分散効果	18
-----------------	----

両社の強みを活かしたグローバルなシナジー効果 の発揮	19
-------------------------------	----

グループコア利益とグループROEへの効果	20
----------------------	----

【補足資料】

Amlin社のグループ構成とビジネスユニット	21
------------------------	----

Amlin社の財務諸表	22
-------------	----

MS&ADの既存の経営数値目標 (買収前)	23
-----------------------	----

「グループコア利益」「グループROE」の計算方法	24
--------------------------	----

Amlin社の特長・強み

- 分散の効いたポートフォリオを有し、高い収益性と安定的な成長性を両立
- 英国ロイズの主導的プレーヤー且つ、再保険マーケットでも大きな存在感
- 優秀な人財による専門性の高い引受能力、高度なリスク管理とE R M態勢を確立

本買収の戦略的目的

- 世界における主導的ポジションの確立
- バランスのとれたポートフォリオによる成長性の向上と事業基盤の強化
- 両社の強みを活かしたグローバルなシナジー効果の発揮

MS&AD

INSURANCE GROUP

I. 本買収の概要

買収形態	三井住友海上がAmlin社の株式の100%を現金買収し、完全子会社化 (英国法に基づくスキーム・オブ・アレンジメントにより実施予定)
一株あたり買収価格 ／買収総額	1株当たり670ペンス 買収総額3,468百万ポンド (約6,350億円)*1 (Amlin社株主は2015年8月24日に決議された1株当たり8.4ペンスの配当を受領予定)
取引倍率	買収総額は、Amlin社2015年中間期末有形純資産額の約2.4倍
プレミアム	直近株価 (9月7日終値) 492.5ペンスに対し、36.0%のプレミアム 直近1か月加重平均株価 504.2ペンスに対し、32.9%のプレミアム
のれんへの影響	約3,740億円 (買収総額 - Amlin社2015年度中間期末有形純資産額)*1
買収資金	当社グループ内の手元資金および外部からの調達資金 ※エクイティファイナンスは行わない
今後のスケジュール	Amlin社株主集会の承認 関係当局等からの認可・承認
買収完了時期	2015年度第4四半期中 (2016年1月～3月) を予定

*1 1£=183円で換算

MS&AD

INSURANCE GROUP

Ⅱ. Amlin社の概要と特長

- ロイズで第2位の大手シンジケート、スイス・バミューダを拠点とする再保険会社、ベネルクスを本拠地とする欧州元受保険会社の3つの核を持つ保険持株会社
- 多くの優秀なアンダーライターを擁し、グローバルに存在感を発揮する保険のトップブランドの一つ
- **設立年月**：1998年9月
- **本社**：英国ロンドン
- **代表**：Chairman/Richard Davey, CEO/Charles Philipps
- **従業員数** *1: 約1,900名
- **グループの事業内容**：再保険、Marine & Aviation、Property & Casualty
- **主要事業地域**：英国、欧州大陸、米国、バミューダ、シンガポール（全世界に20拠点）
- **収入保険料***2：2,564百万ポンド（約4,692億円*3）
- **連結当期純利益***2：237百万ポンド（約433億円*3）
- **連結純資産***4 *5 / **連結有形純資産***4：1,680百万ポンド（約3,075億円*3） / 1,425百万ポンド（約2,607億円*3）
- **格付***1：

	<ロイズ> Syndicate 2001	<再保険> Amlin AG	<欧州元受> Amlin Europe N.V.
A.M. Best	A+ (Superior)	A (Excellent)	Not Rated
S&P	4+ (Stable)*6	A (Stable)	A- (Positive)
Moody's	A2 (Stable)	A2 (Stable)	Not Rated
Fitch	Not Rated	A+ (Stable)	A+ (Stable)

*1 2014年度末時点

*2 2014年度実績値

*3 1£=¥183で換算

*4 2015年度中間期末時点

*5 非支配株主持分を除く

*6 Lloyd's Syndicate Assessment

高い収益性

分散の効いたポートフォリオを有し、
高い収益性と安定的な成長性を両立

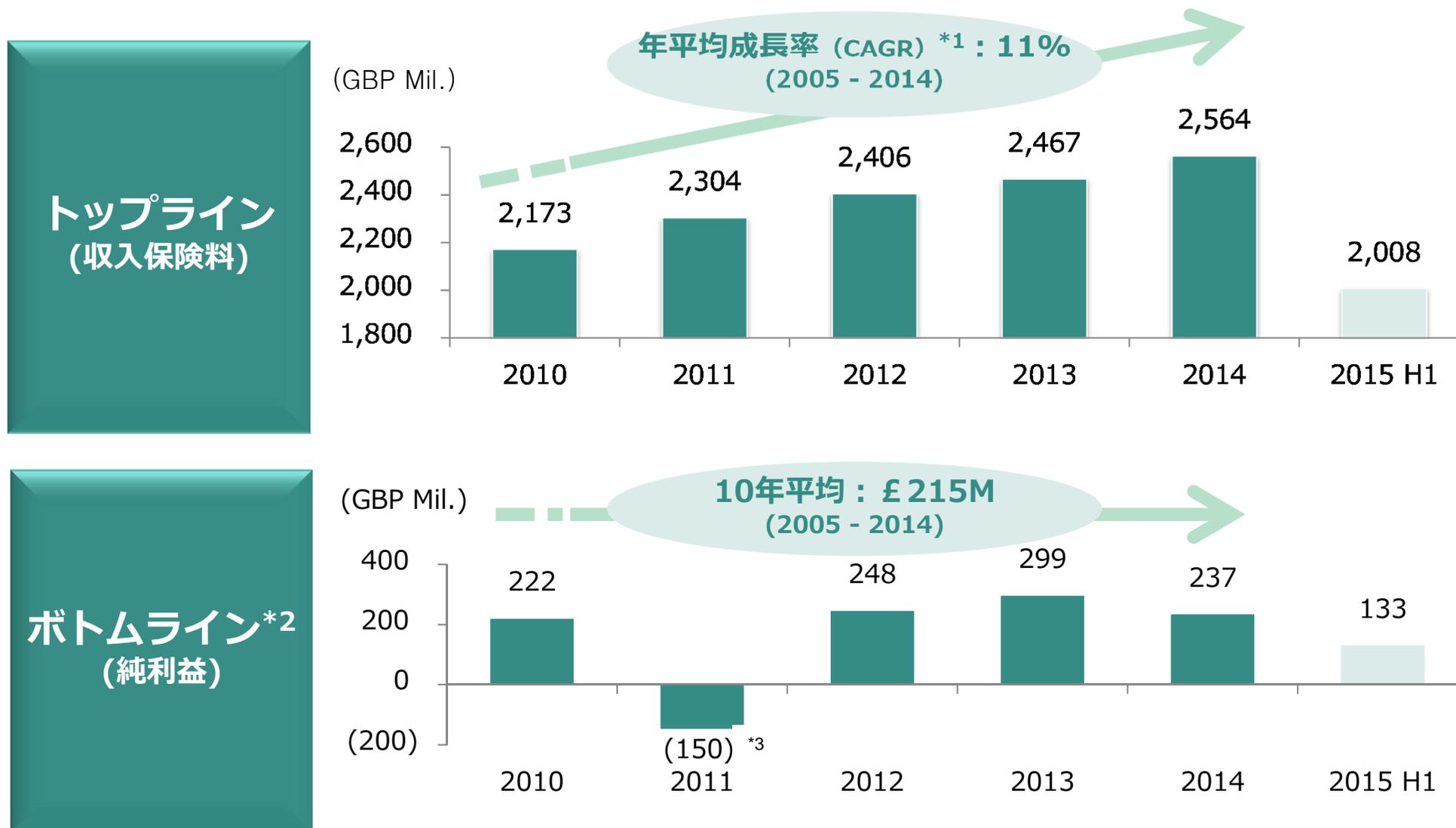
ロイズでの
プレゼンス

英国ロイズの主導的プレーヤー
かつ、再保険マーケットでも大きな存在感

優秀な人財
・ 高度な
リスク管理

優秀な人財による専門性の高い引受能力、
高度なリスク管理とERM態勢を確立

- 収入保険料は、過去10年間は年平均成長率約11%で伸長
- 純利益は、過去10年平均 £ 215M



出典: Amlin plc 2014 Annual Report, Amlin plc Interim Results 2015

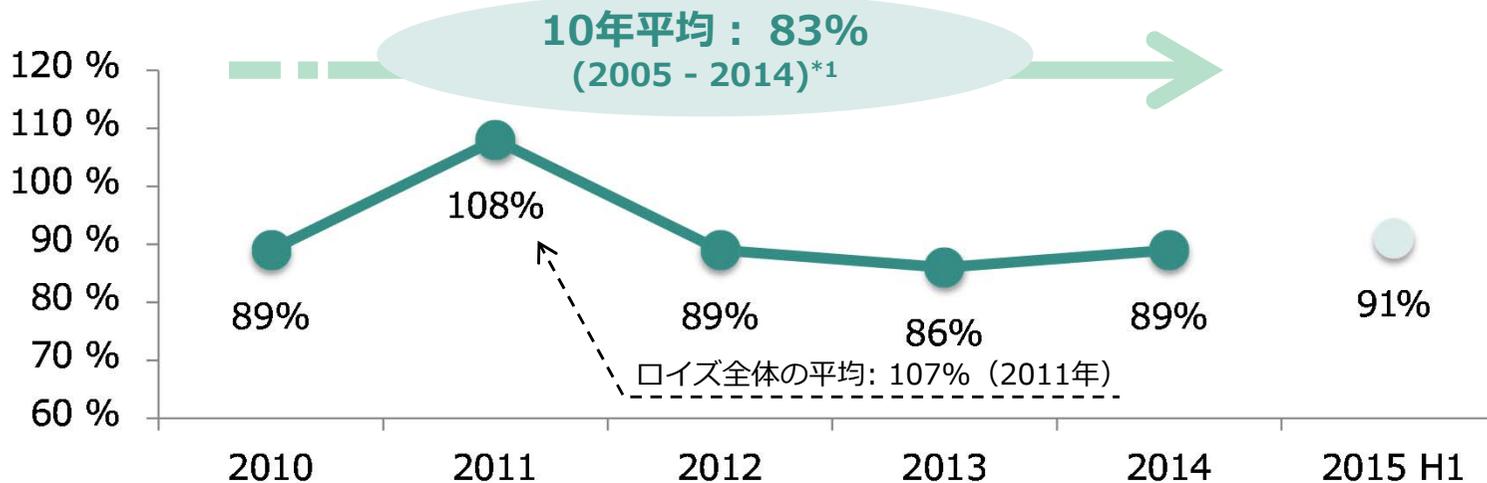
*1 CAGR (Compound Average Growth Rate)、ロイズの過去10年間年平均成長率: 6%

*2 非支配株主に帰属する純利益を除く

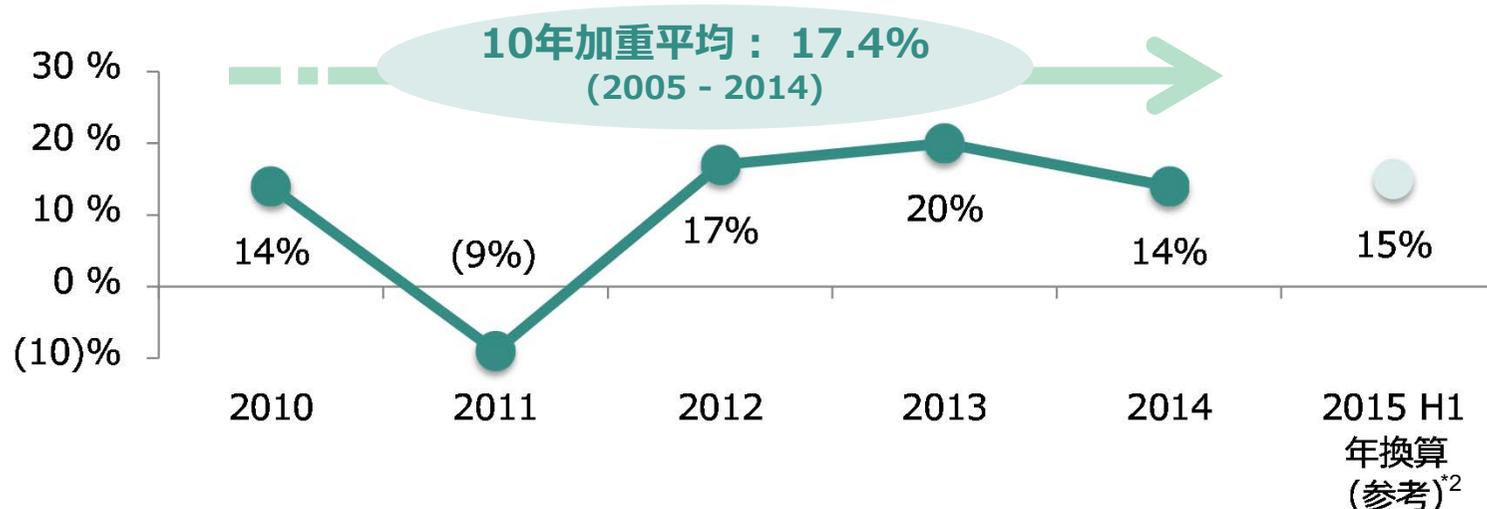
*3 主に米国以外での自然災害多発による損失

- マーケットサイクルのある中（循環的市場）で、高い保険引き受け技術の下、機動的かつ規律ある引受を行うことで、過去10年平均コンバインドレシオは83%
- リスク・リターンの最適化と、市場環境に応じた効果的な資本コントロールにより過去10年加重平均ROEは17.4%

コンバインド
レシオの
推移



ROEの
推移



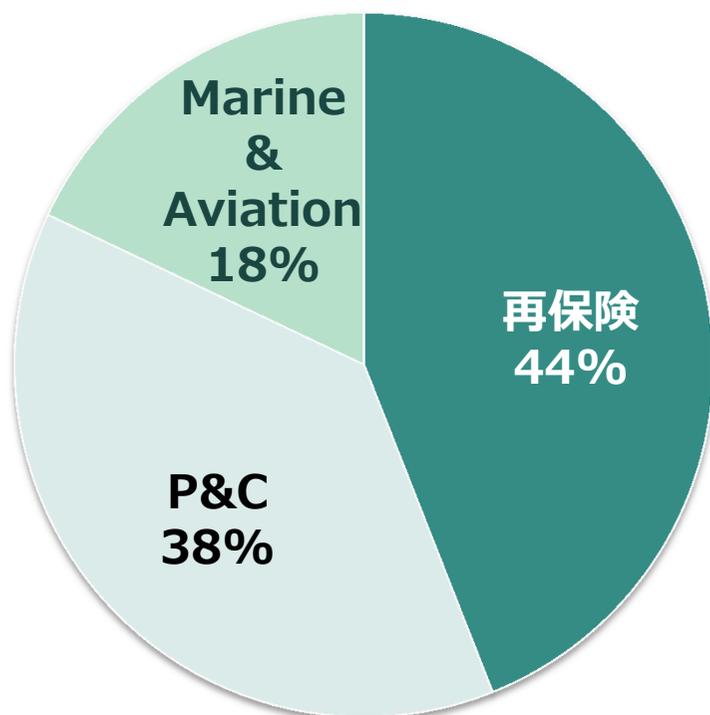
出典：Amlin plc 2014 Annual Report、Amlin plc Interim Results 2015、Lloyd's Annual Report

*¹ ロイズ全体の過去10年平均：92%

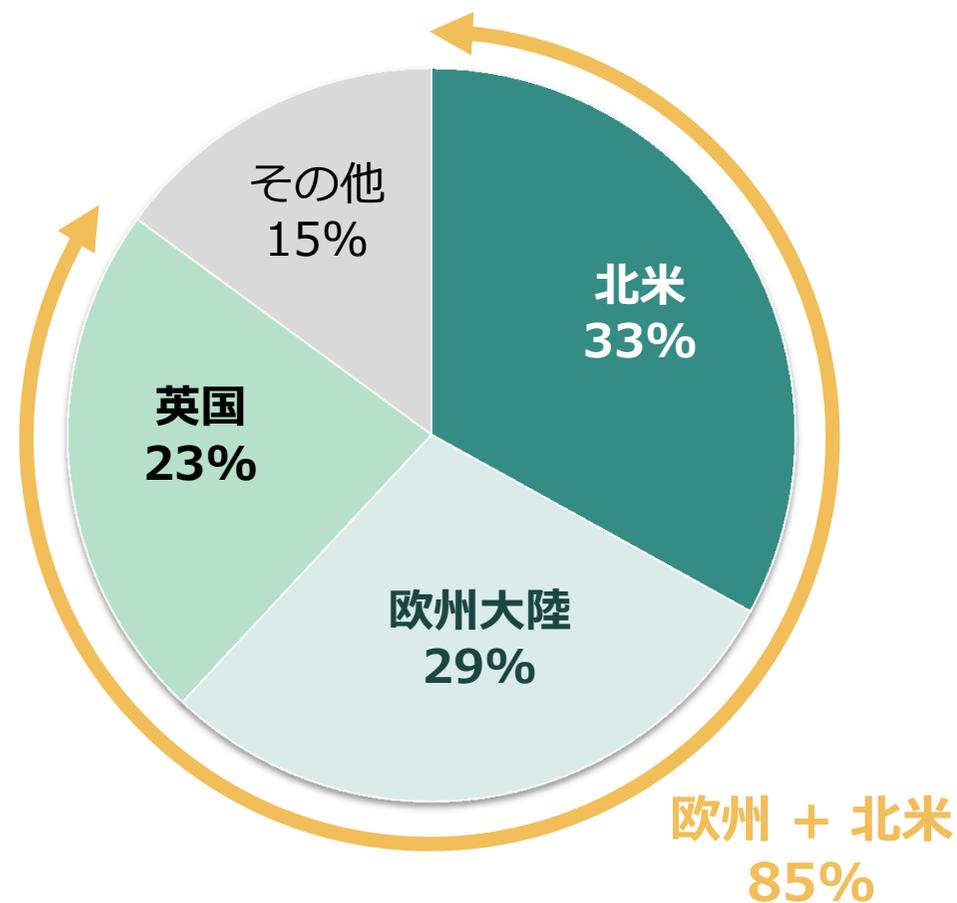
*² 2015 1HのROE (7.4%) を年換算した数値

- ビジネスユニット (SBU) の下に元受・再保険ビジネスを展開
- 地域別収入保険料の85%は欧州 + 北米

ビジネスユニット (SBU) 別*1
収入保険料 (GWP) *2 (2014年度)



地域別収入保険料 (GWP) *2
(2014年度)



出典: Amlin plc 2014 Annual Report

*1 戦略的ビジネスユニットと事業会社の構成は補足資料参照

*2 Gross Written Premium

- 再保険については種目間で十分な分散が図られている一方、自然災害についても、地域分散が効いている。
- マリン分野のロイズにおけるリーダーポジションにあり、小型船舶や船主責任保険、オフショアエネルギー分野などで高い競争力を有する。
- ショートテールリスクの引受を志向しており、米国カジュアルティリスクやロングテールリスクには極めて慎重な引き受け姿勢

再保険

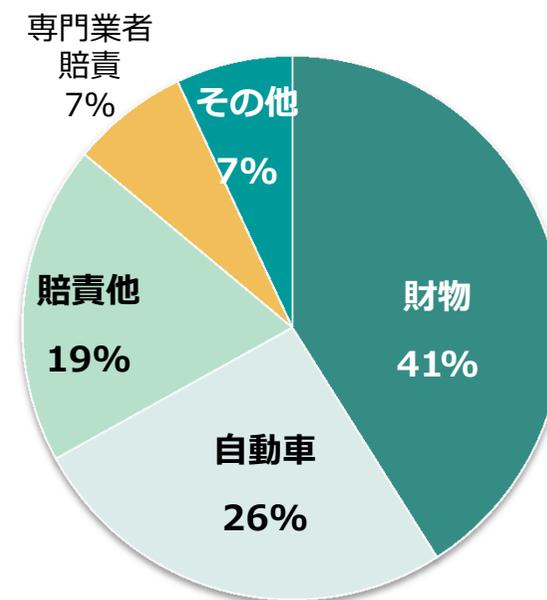
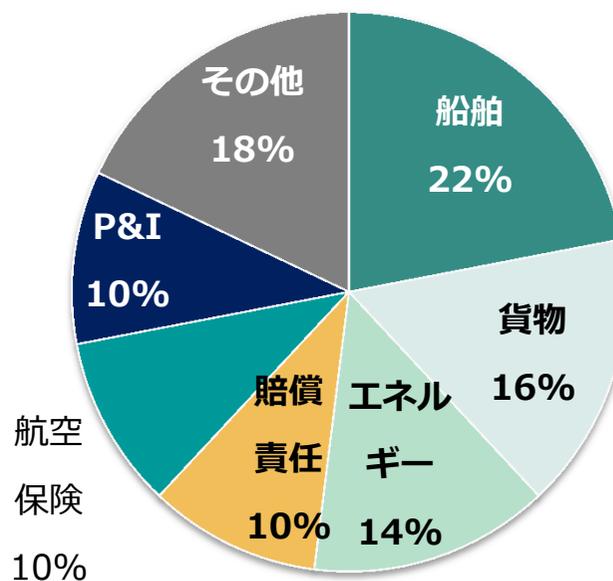
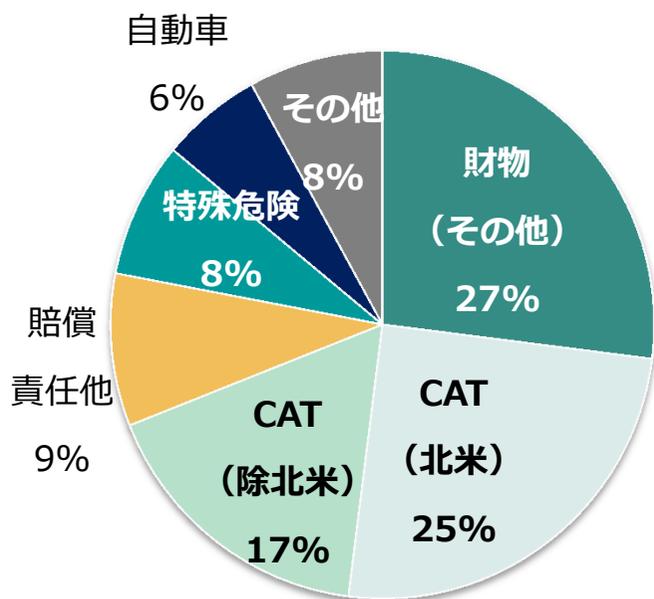
- GWP*1 1,136百万ポンド
- COR*2 84%

Marine & Aviation

- GWP*1 497百万ポンド
- COR*2 89%

Property & Casualty

- GWP*1 1,000百万ポンド
- COR*2 94%



(2014年)

出典: Amlin plc 2014 Annual Report

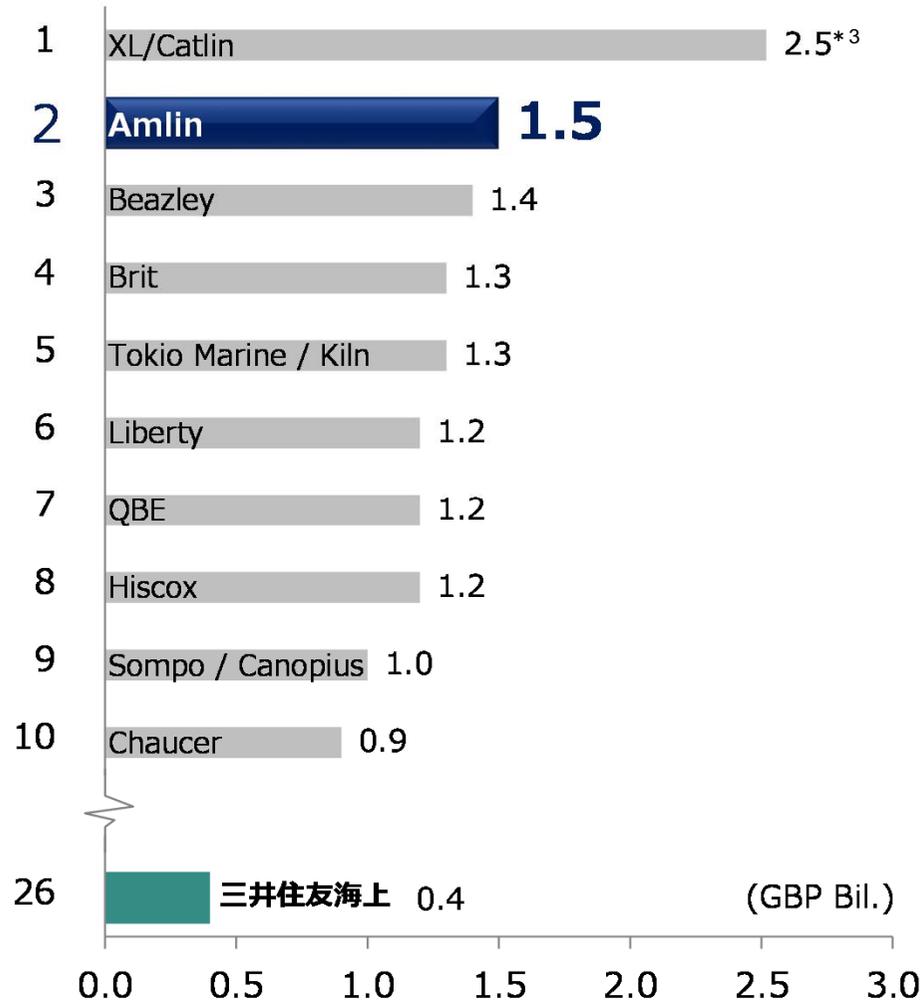
*1 GWP : Gross Written Premium

*2 COR : コンバインドレシオ

ロイズでのプレゼンス

- マネージング・エージェントとしてはロイズで第2位の収入保険料
- 再保険分野では、収入保険料で第2位のシンジケート

ロイズのマネージング・エージェント ランキング (2014年GWP) *1

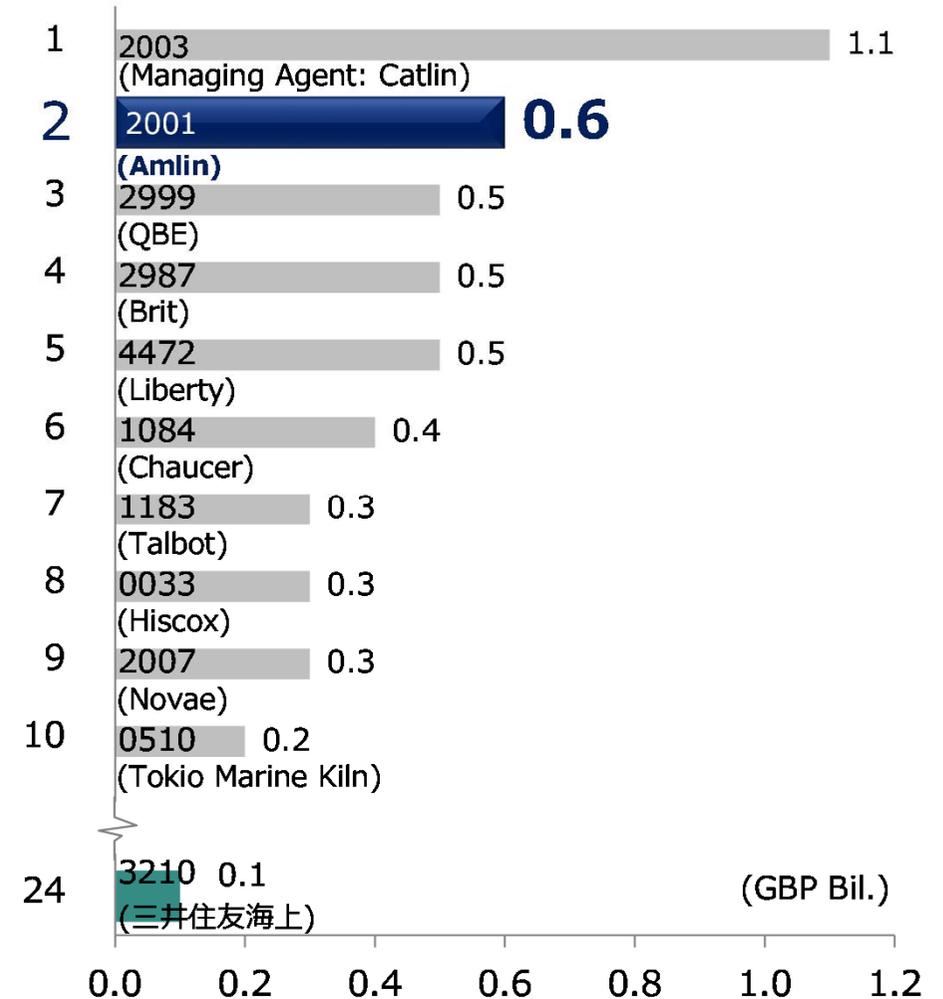


*1 出典: Lloyd's Annual Report 2014

*2 出典: Lloyd's Statistics 2014 edition

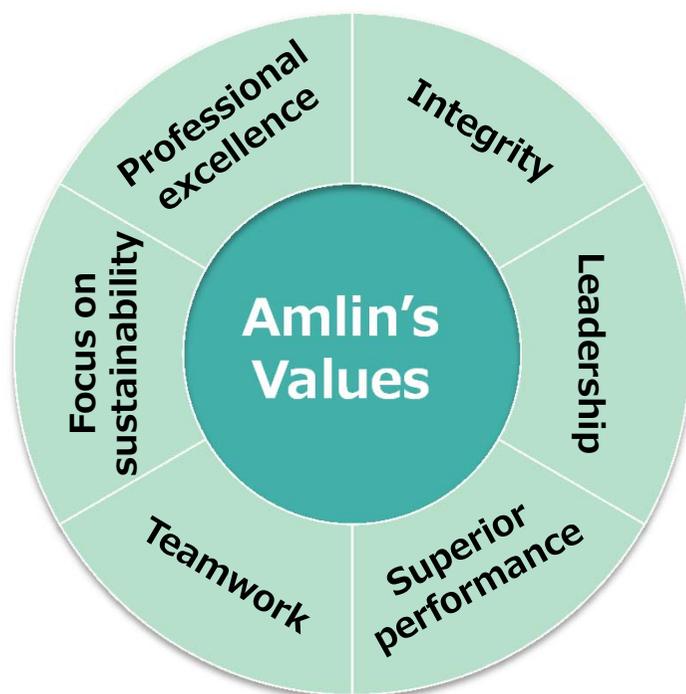
*3 2015年1月、XLグループはCatlinの買収を公表

ロイズシンジケート 再保険ランキング (2013年GWP) *2

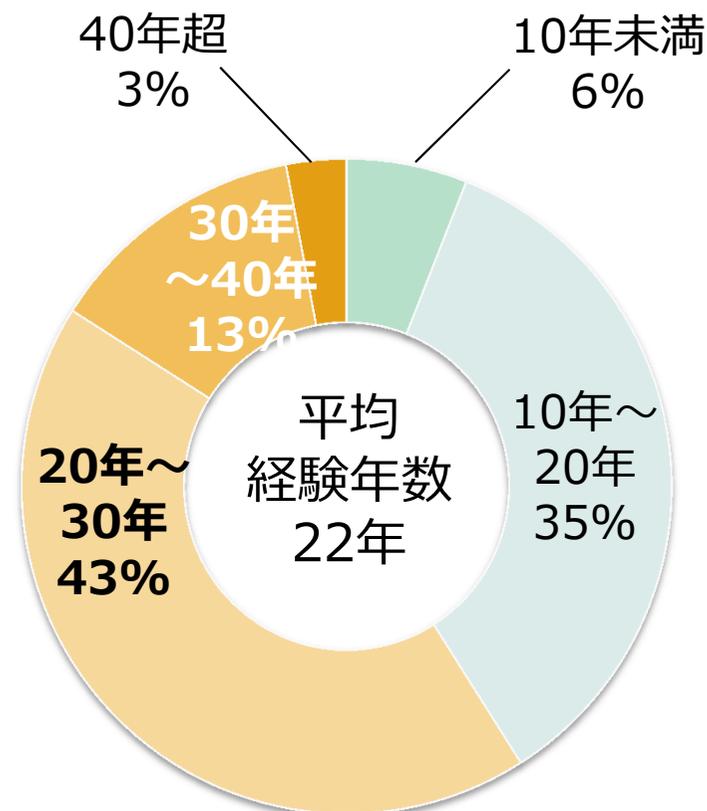


- 高いマーケットプレゼンスを持つロイズでは、多くの優秀なアンダーライターによる専門性の高い引受ノウハウを生かし、競争に晒されにくいリスクを中心に引き受けることで、安定的かつ高い収益性を確保

Amlin社のバリュー



シニアアンダーライターの 業務経験年数 *1



出所 : Amlin plc 2014 Annual Report

*1 2014年末時点

- S&PのERMスコアにおいて最上級の「Very Strong」を付与される唯一のロイズシンジケート
- グループの主要なリスクは、リスクマネジメントフレームワークの中で管理し、定期的にORSAレビューを実施

■ 高度なリスク管理ノウハウ

- リスク分析
- 発生確率と影響度を予想
- 各リスクに対する戦略を決定
- 明確なガバナンス態勢と組織態勢の構築

■ 3つの階層からなるリスク管理モデルを通じたリスクマネジメント

- 第一階層- マネジメントメンバーとスタッフ
- 第二階層- リスク及びコンプライアンス部門
- 第三階層- 内部監査

- 取締役会は、グループの取るべきリスク量を決定し、これを各事業部門に割り振る。各事業部門は四半期ごとに、リスク許容度との差を報告する

- S&Pの直近のレポートでは、ERMスコアにおいて最上級である very strong を付与されている

基本的枠組み

リスクに対する方針と戦略

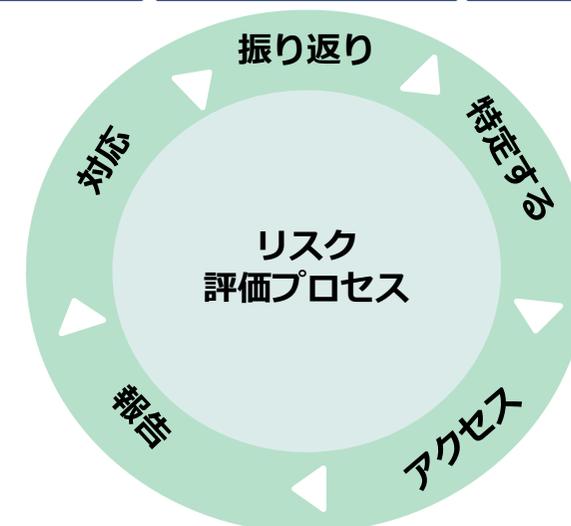
リスク基準

リスク選好度と許容度

ガバナンスと
組織態勢

説明責任

意思疎通



インフラ
ストラクチャー

課題

MS&AD

INSURANCE GROUP

Ⅲ. 買収の戦略的目的と期待される効果

- 収益性の一層の改善と資本効率の向上が課題
- 国内株式を削減し、成長領域である海外事業への新規事業投資を行い、国内に依存・集中する事業リスクおよび保険引受リスクの地理的分散をはかる

ERM経営上の課題認識

国内損保事業の収益改善等により
「健全性」は大きく改善



今後の「収益性」の一層改善と
「資本効率」の向上が課題

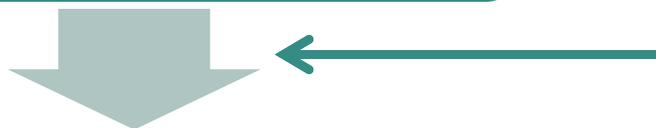
グループのリスク選好方針

資産運用 リスク	リスク性資産の圧縮と収益性向上、事業投資ファンドの確保のため、 <u>政策株式を継続的に削減</u>
保険引受 リスク	適切なアンダーライティング・リスク管理のもと、 <u>積極的にリスクテイクを行う</u>
うち 海外事業	<ul style="list-style-type: none"> • M&A戦略等による成長領域への資源配分（事業投資）を含めて、成長戦略を推進し規模を拡大させる • 国内に依存・集中する事業リスクおよび地政学的な保険引受リスクの分散に寄与する

- Amlin社をMS&ADグループに迎え入れることで、世界トップ水準の保険・金融グループの創造に向けた大きな推進力を獲得
- 同社の高い成長性・収益性を取込むことで、当社グループの収益成長とROE向上を実現
- 当社事業との補完性が高く、ポートフォリオの地理的分散、元受・受再の種目間バランスが強化される

当社グループの現状

- 当社グループの収入保険料および利益とも国内損保事業が主要な割合を占める。
- 海外事業はグループの成長領域の1つ。特にアジアで強みを持ち、大きなプレゼンスを有する。

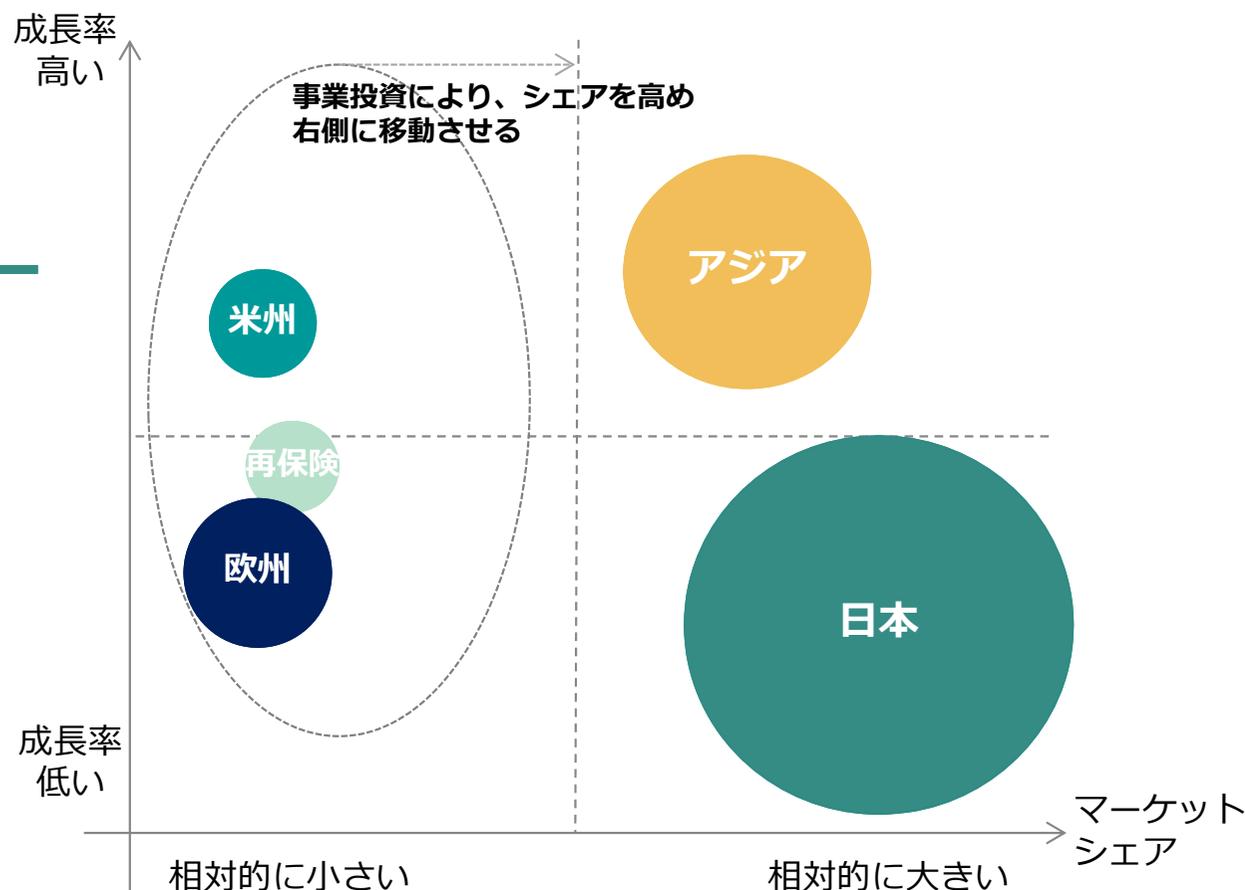


本買収を通じて当社グループが目指す姿

- 世界メジャーの一角を担うグローバル保険会社への成長
- 多様な収益の柱を持ち、国内外が補完し合うバランスのとれた事業ポートフォリオの確立
- 海外事業投資等で得たノウハウや専門性を国内営業にも活用
- リスク分散による資本効率の一層の改善

買収による事業ポートフォリオ多角化のイメージ

※ 円の大きさは各事業の相対的規模のイメージ



- 日系企業ビジネスを中心に全世界でのネットワークを形成後、M&Aによりアジアローカル保険市場に参入、アセアンNo. 1の損保会社としてのポジションを確立
- 本買収により、世界トップ水準の金融・保険グループに向けての推進力を獲得

1

各国・地域市場への展開

1924年	UK (事務所)
1934年	タイ
1956年	UK
1957年	米国/香港
1958年	シンガポール/ドイツ
1962年	マレーシア
1966年	オーストラリア
1969年	インドネシア
1970年	ニュージーランド
1974年	ブラジル
1977年	フィリピン
1978年	フランス
1997年	ベトナム
1999年	台湾
2001年	中国
2003年	インド
2005年	カンボジア
2010年	ラオス
2015年	ミャンマー/南アフリカ (事務所) / スリランカ

2

アジアでのポジションの確立

アジアのローカル損保市場への参入

2004年 AVIVA (英国) のアジア損保事業の買収

2005年 明台社 (台湾) の買収

アジア生保事業への参入による事業の拡大と多様化

2010年 ホンレオン保険 (マレーシア) への出資

2011年 ホンレオンMSIGタカフル (マレーシア) への出資

2011年 シナールマスMSIG生命 (インドネシア) への出資

2012年 マックス生命 (インド) への出資

3

世界トップ水準の金融・保険グループの形成に向けた展開

2000年 日系損保として初のロイズシンジケートを設立

2012年 ドイツに新会社を設立

2015年 Box Innovation Group (英国) の買収

2015年 Amlin社 (英国) の買収

□ 世界における主導的ポジションの確立

- 日本国内損害保険市場：第1位（現在）
- アセアン損害保険市場：第1位（現在）
- **ロイズ：第2位**

□ バランスの取れたポートフォリオによる成長性の向上と事業基盤の強化

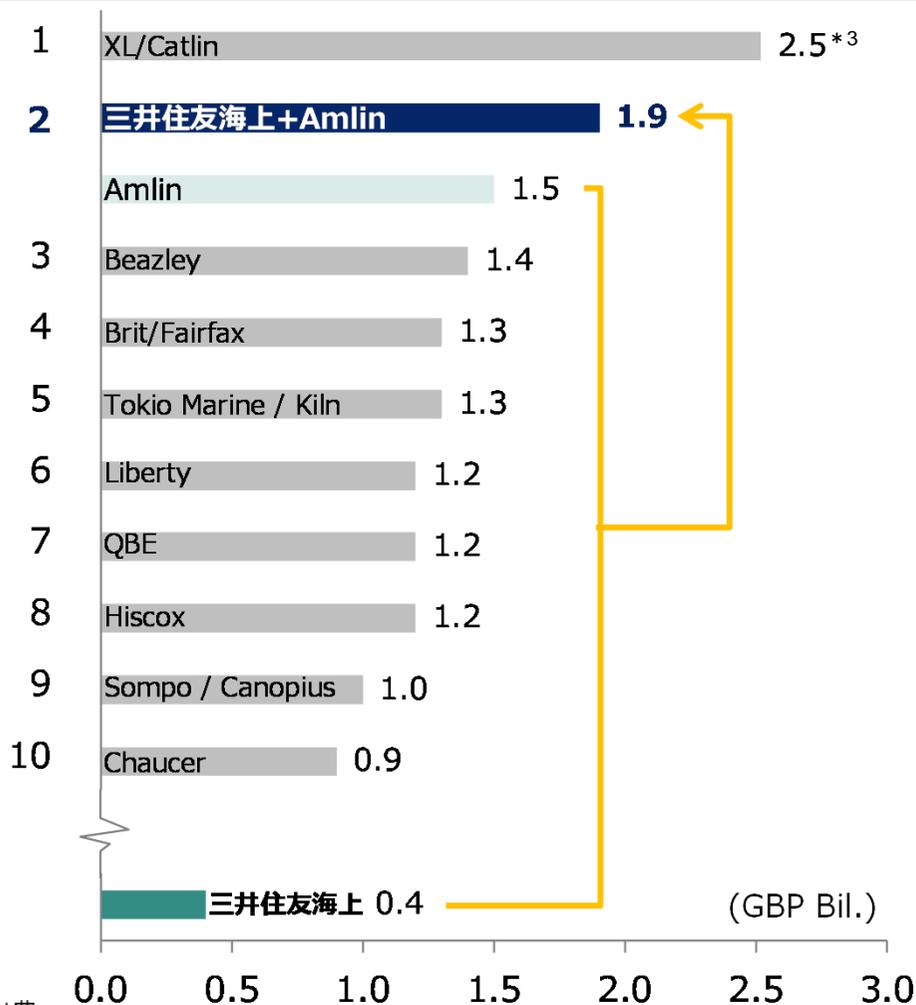
- 日本・アセアン地域を中心としたポートフォリオ構成の当社と、欧州・北米を中心としたポートフォリオ構成のAmlin社が統合することで、地理的ポートフォリオとリスクの分散、元受・受再の種目間バランスの向上を実現する。
- 本件買収により、国内事業と海外事業が補完し合うバランスの取れた安定性・成長性の高いビジネスモデルを構築し、事業全体の資本効率の向上を図る。

□ 両社の強みを活かしたグローバルなシナジー効果の発揮

- ロイズ事業：両社のロイズ事業を統合し、ロイズにおけるマーケットリーダーとしての影響力をさらに高めていく。
- 再保険事業：両社の再保険事業の統合等を進め、再保険市場におけるプレゼンスの向上とリスク管理の強化を図る。
- アジア・米国事業：当社が有するアセアン全域のネットワークと米国全州の引受ライセンス、Amlin社が有するスペシャルティ種目の引受技術と商品開発力を活かし、グローバルに高品質な商品・サービスを提供する。
- 欧州大陸事業：クロスセル等を通じたポートフォリオの相互補完により、プレゼンスの向上を目指す。

- 両社のシンジケートの統合により、ロイズにおける市場影響力が増強

ロイズのマネージング・エージェント ランキング (2014年GWP) *1



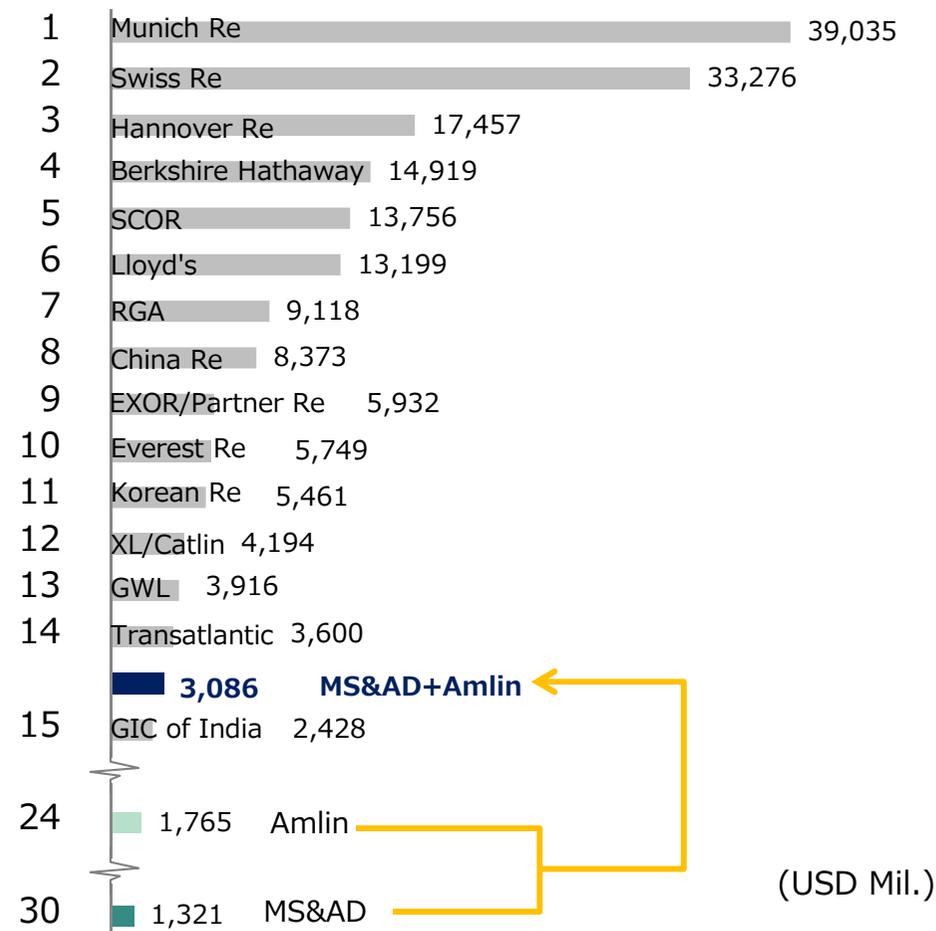
出典:

*1 Lloyd's Annual Report 2014

*2 A.M.Best Company "top 50 Global Reinsurance Groups (2014)" (グループ間取引を除く収入保険料ベース)

*3 2015年1月、XLグループはCatlinの買収を公表

世界再保険ランキング (2014年収入保険料ベース*2)



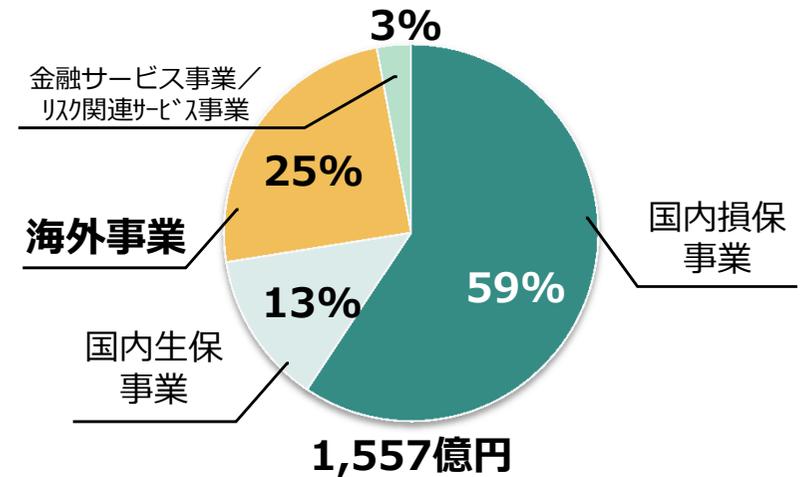
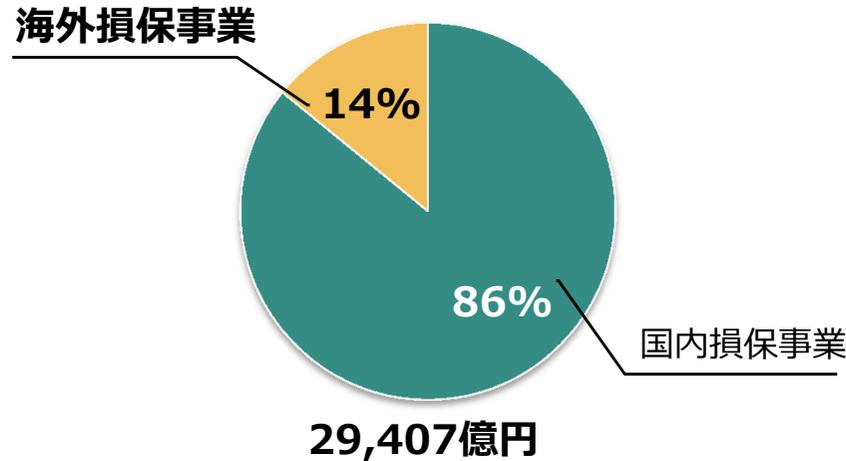
(1) 海外事業ウェイトの拡大効果

- トップライン、ボトムラインとも国内損保事業偏重の事業ポートフォリオから、国内損保、国内生保、海外事業とバランスある事業ポートフォリオに転換

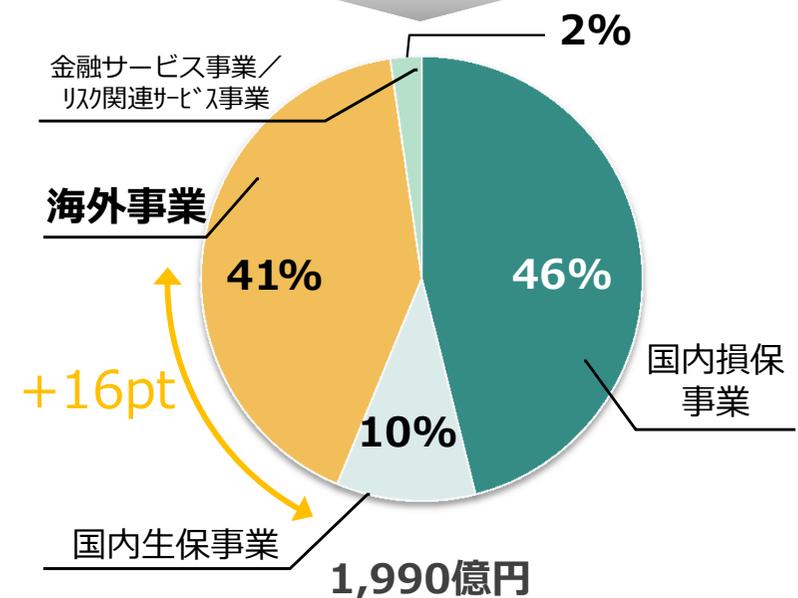
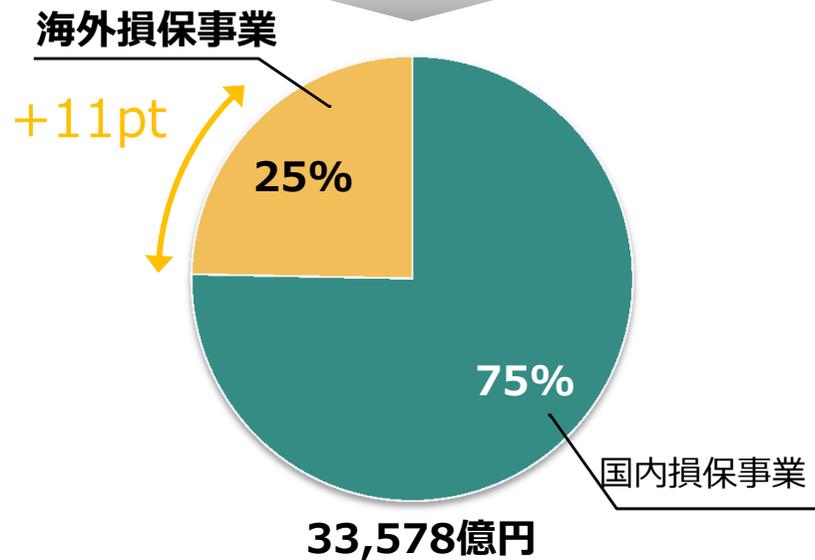
正味収入保険料

グループコア利益

MS&AD
(2014年度
実績値)



MS&AD
+ Amlin*1
(2014年度
実績値ベースの
単純合算値)

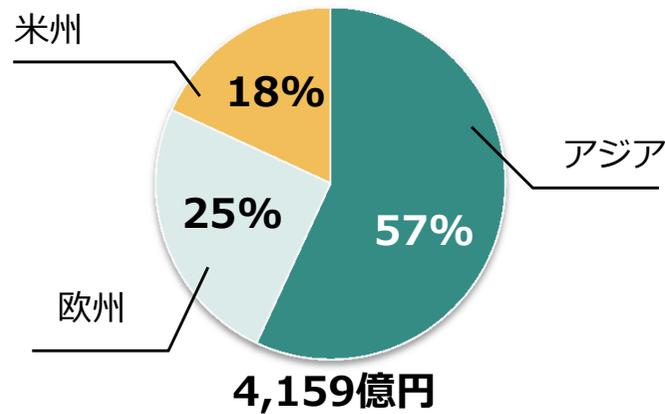


出典: Amlin plc 2014 Annual Report、MS&ADインフォメーションミーティング資料
*1 両社グループの2014年度実績値の単純合算値 (Amlin社の数値は、1£=¥183で換算)

(2) 海外事業の地理的分散効果

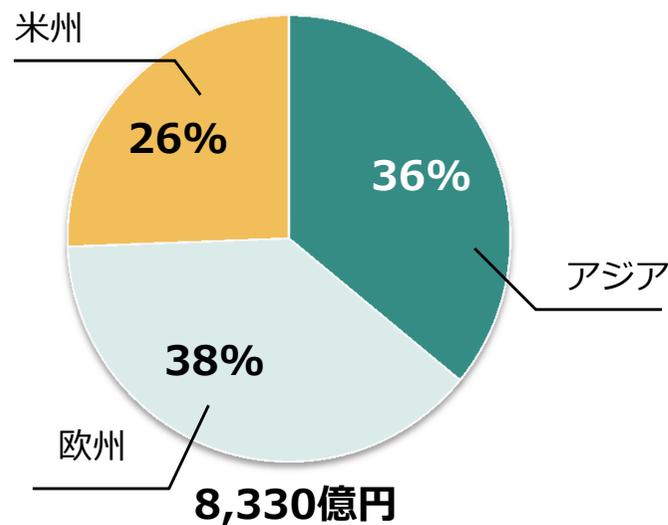
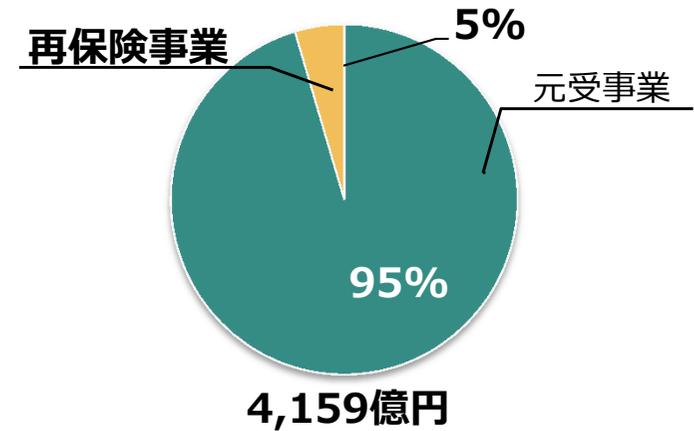
- アジアを中心としたポートフォリオから、アジア・欧州・米州がバランスのとれたポートフォリオに転換
- 再保険ビジネスの拡大により、元受と再保険のバランスが強化される

地域別正味収入保険料*2

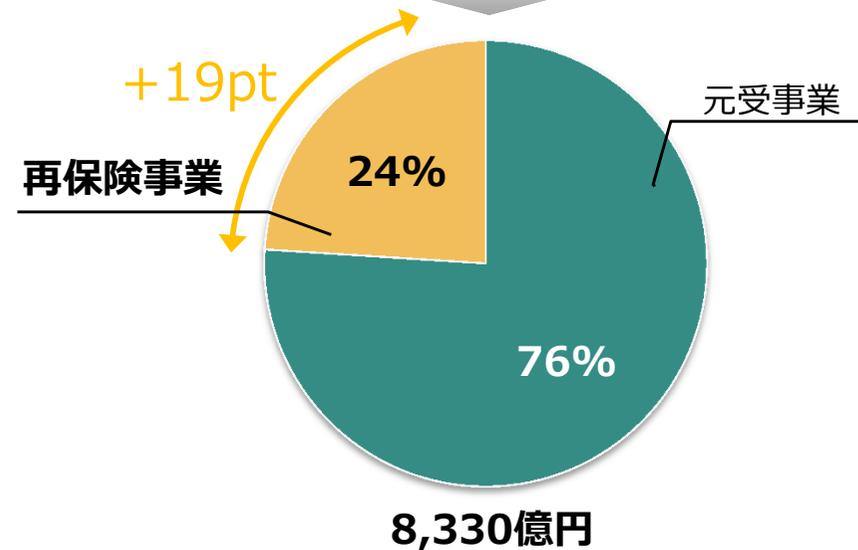


MS&AD
(2014年度
実績値)

引受形態別正味収入保険料*3



MS&AD
+ Amlin*1
(2014年度
実績値ベースの
単純合算値)



出典: Amlin plc 2014 Annual Report、MS&ADインフォメーションミーティング資料

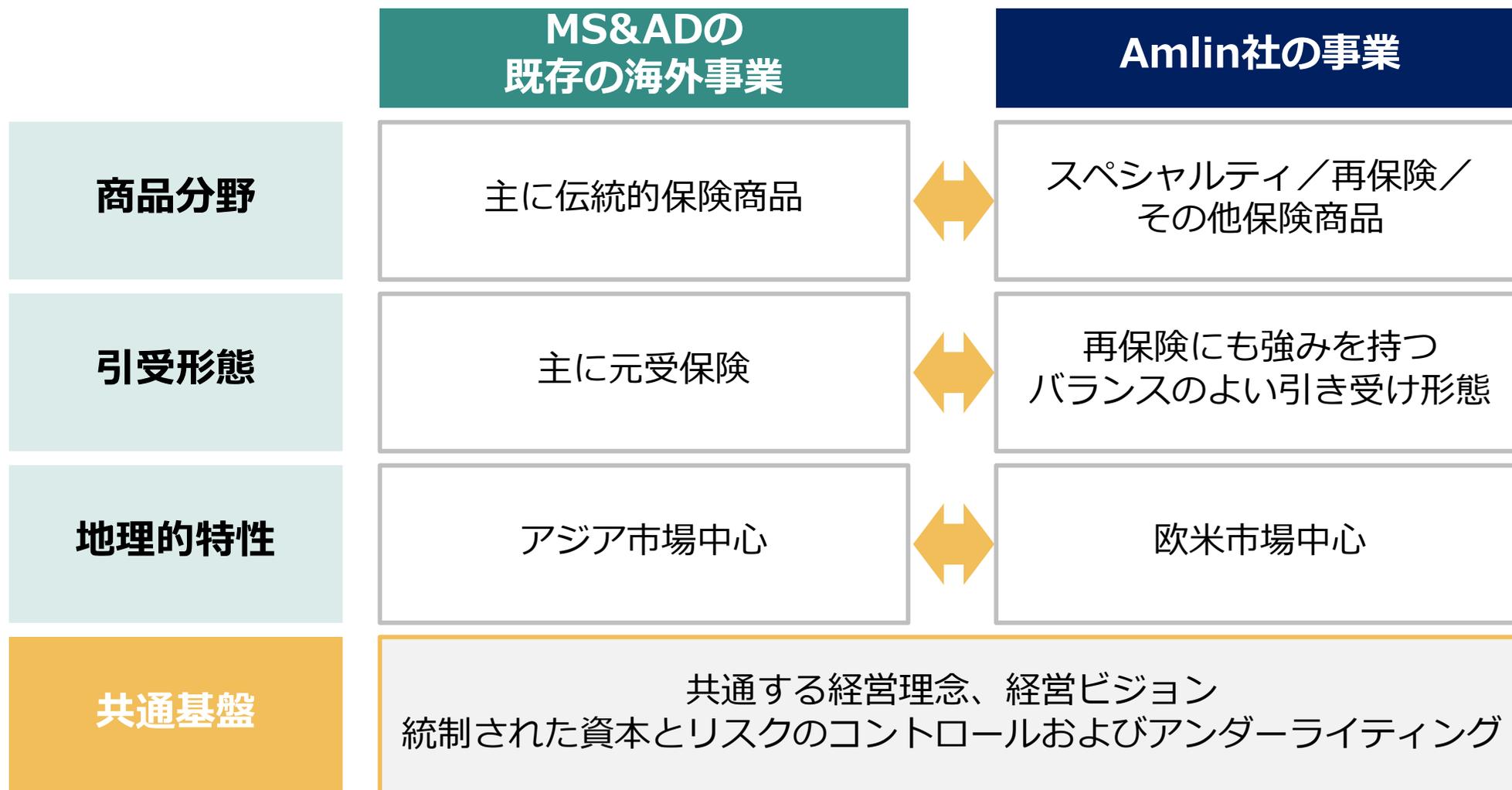
*1 両社グループの2014年度実績値の単純合算値 (Amlin社の数値は、1£=¥183で換算)

*2 Amlin社の数値は、正味収入保険料をグロス収入保険料の地域割合で按分 (その他地域をアジアとみなす)

*3 Amlin社の数値は、正味収入保険料をグロス収入保険料の引受形態別割合で按分

両社の強みを活かしたグローバルなシナジー効果の発揮

- Amlin社の事業は、当社海外事業との補完性が高く、当社海外事業の地理的分散拡大、元受・受再の種目間バランスが強化される
- それぞれの強みとする領域でのシナジー発揮余地は大きい



- 2014年度実績試算では、グループコア利益、グループROEを押し上げる効果

グループコア利益／グループROEへの影響（2014年度ベースの試算値）

	MS&AD (a)	買収効果 (b)	MS&AD + Amlin (a)+(b)
グループコア利益	1,557億円	+ 433億円 ^{*1}	1,990億円
グループROE	5.9%	+ 1.7% ^{*2}	7.6%

※1 グループコア利益 の買収効果 = Amlin社2014年度当期純利益（1£=¥183で換算）

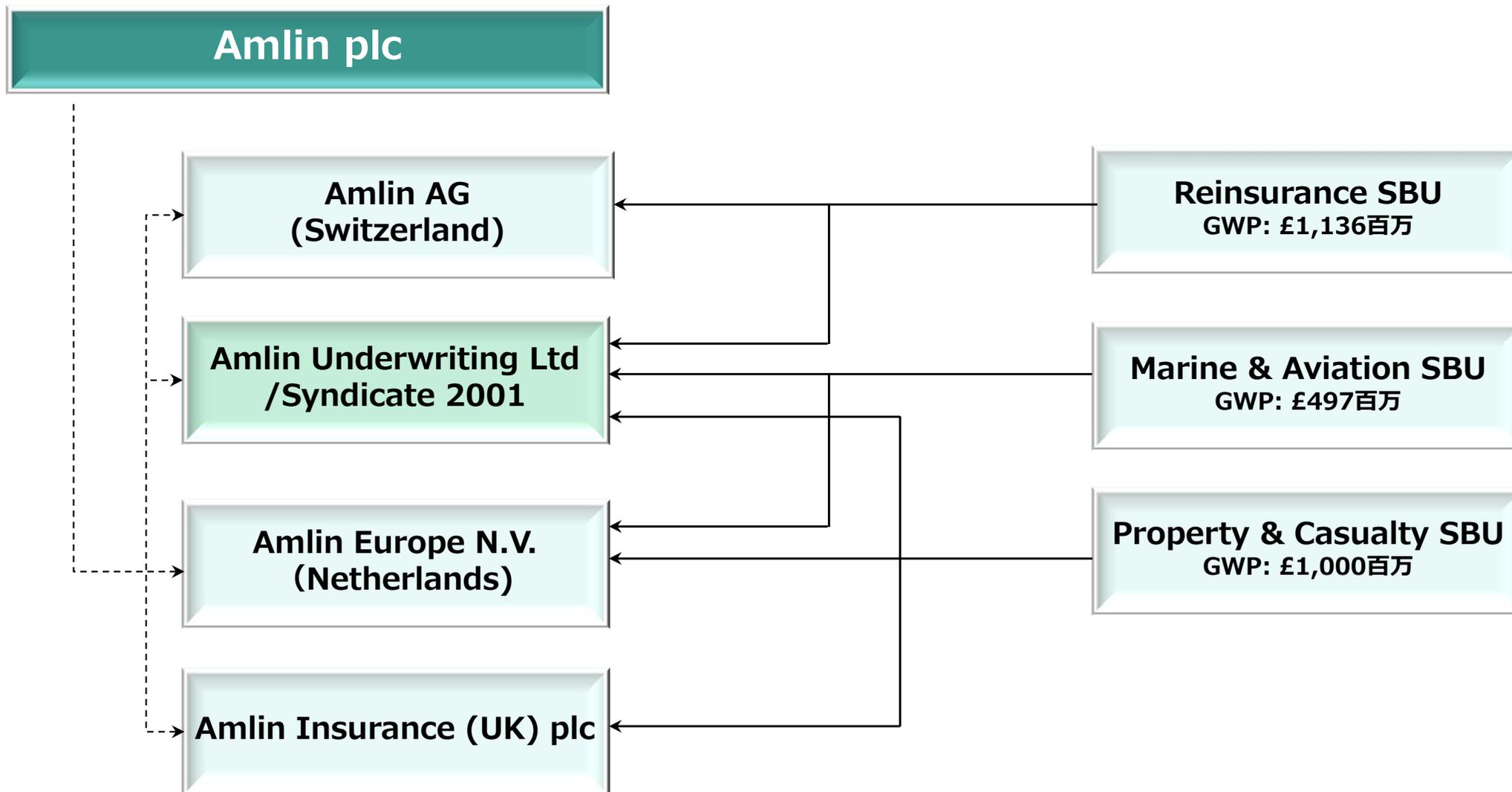
※2 グループROE の買収効果 = Amlin社2014年度当期純利益（1£=¥183で換算） / MS&AD社2014年度連結純資産（期初期末平均、除く少数株主持分）

MS&AD

INSURANCE GROUP

補足資料

- グループの保険引受事業を再保険、Marine & Aviation、Property & Casualty 3つのビジネスユニットに分け、事業会社横断で、引受、リスク管理、収益管理を実施

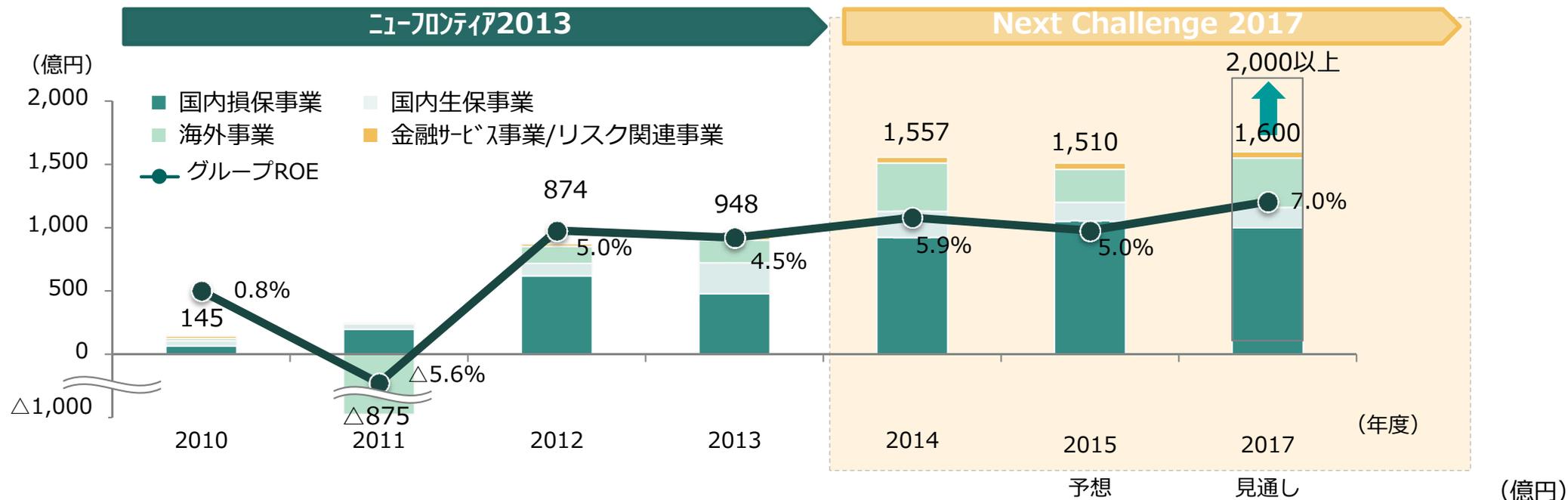


出典: Amlin plc 2014 Annual Report
*1 2014年実績値

	2014 £m	2013 £m	2012 £m	2011 £m	2010 £m
Gross written premium	2,564.0	2,467.4	2,405.6	2,304.1	2,172.5
Net written premium	2,278.9	2,107.4	2,058.6	2,013.2	1,910.3
Net earned premium	2,183.4	2,077.4	1,970.5	1,927.4	1,748.1
Result attributable to underwriting	246.0	283.1	207.1	-146.0	185.6
Investment return	118.5	160.4	165.3	40.5	175.0
Other costs	-105.8	-117.8	-108.2	-88.3	-101.4
Result before tax	258.7	325.7	264.2	-193.8	259.2
Return on equity	14.1%	19.8%	17.4%	-8.6%	13.9%
Net assets	1,782.8	1,678.6	1,497.7	1,420.4	1,729.9
Net tangible assets	1,519.2	1,439.5	1,286.3	1,201.5	1,545.4
Per share amounts (in pence)					
Earnings	47.4	60.0	50.0	-30.3	45.0
Net assets	356.8	336.7	301.2	287.2	350.6
Net tangible assets	304.1	288.7	259.8	243.0	313.2
Ordinary dividend under IFRS	26.3	24.3	23.3	23.0	20.7
Ordinary dividends declared for the calendar year	27.0	26.0	24.0	23.0	23.0
Special dividend	15.0	-	-	-	-
Operating ratios					
Claims ratio	56%	52%	57%	78%	60%
Expense ratio	33%	34%	32%	30%	29%
Combined ratio	89%	86%	89%	108%	89%

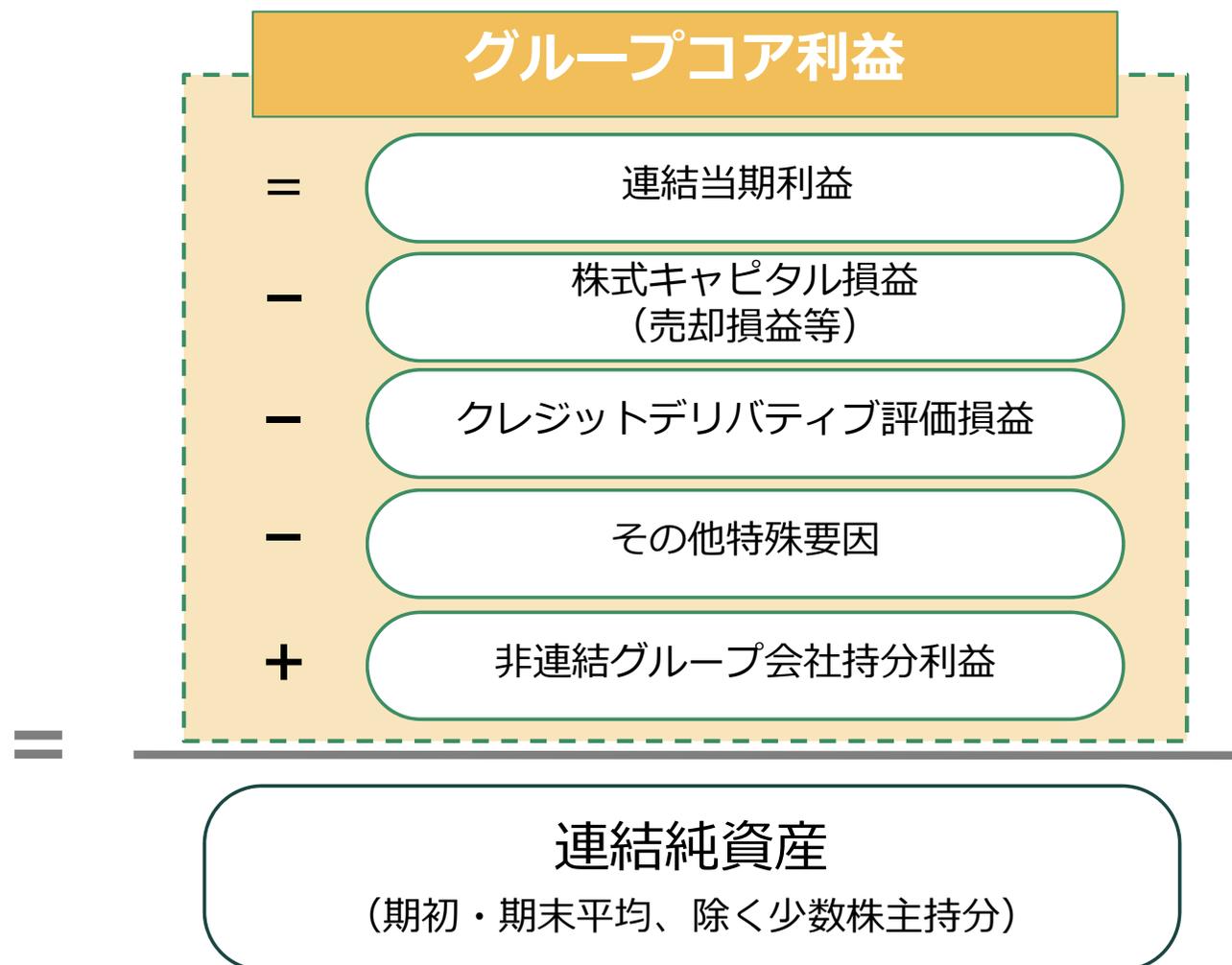
出典: Amlin社Annual Report2014

グループコア利益とグループROE



	2014年度			2015年度			2017年度	
	修正予想	実績	予想比	当初目標	予想	当初目標比	目標	見通し
国内損保事業	760	924	164	760	1,050	290	1,000	2,000以上
国内生保事業	140	204	64	130	150	20	160	
海外事業	250	382	132	270	260	△ 10	390	
金融サービス事業/リスク関連事業	50	46	△ 4	40	50	10	50	
グループコア利益	1,200	1,557	357	1,200	1,510	310	1,600	
グループROE	5.2%	5.9%	+0.7pt	5.4%	5.0%	△ 0.4pt	7.0%	
MSA生命EV増加額	650	597	△ 53	400超	550	150	450超	
連結正味収入保険料	29,350	29,407	57	30,000	30,660	660	31,000	32,000以上
コンバインドレシオ(国内損保)	98.1%	96.0%	△ 2.1pt	95%水準	93.6%	△ 1.4pt	95%以下	

グループ
ROE



本件に関するお問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社 広報・IR部

TEL: 03-5117-0311 FAX: 03-5117-0602

E-mail: ms_ad_ir@ms-ad-hd.com

URL: <http://www.ad-ad-hd.com>